

取扱説明書

MV-410HS

MV-410HS ウェブブラウザ

MV-410HS Web Browser

Version 1.0 - Rev.1

目次

1. セットアップ	1
1-1. 概要.....	1
1-2. 動作環境.....	1
1-3. Java(TM)のインストール	2
1-4. 接続.....	3
1-5. 通信規格.....	3
1-6. PC のネットワーク設定	4
2. Internet Explorer でのリモートコントロール	5
2-1. Internet Explorer の起動と接続.....	5
2-2. Internet Explorer の終了.....	6
2-3. コントロール画面.....	6
2-4. 動画転送 (VIEWER).....	7
3. 故障かなと思ったときに	9

登録商標

Microsoft Windows ® XP オペレーティングシステムは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Pentium ®は米国 Intel Corporation.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

JavaTM および Java のロゴはサン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

1. セットアップ

1-1. 概要

マルチビューワ MV-410HS はネットワーク接続することで PC への動画転送が可能となります。動画転送画像の確認には、Web ブラウザ Internet Explorer を使用します。

1-2. 動作環境

MV-410HS Web Browser は次の PC 環境で動作します。

OS	Windows® XP operating system SP2 以降 Professional (32bit)	Windows® 7 operating system Professional (32/64bit)
CPU	Pentium® 4 processor 1.3GHz 以上	Intel® Core™ 2 Duo processor 2GHz 以上
メモリ	512MB 以上	2GB 以上
ディスプレイ	解像度 1024×768pixels 以上 フルカラー (24 ビット) 表示可能であること。	
ネットワークポート	Ethernet 1 ポート以上 100BASE-TX/1000BASE-T	
ネットワークケーブル	100BASE-TX : カテゴリ 5 以上 1000BASE-T : カテゴリ 6、またはエンハンスドカテゴリ 5	
ソフトウェア	Windows® Internet Explorer 6.0 以降 Java™ 6 (付属の CD-ROM に収録)	

注意 Java™ 6 以外を使用すると、VIEWER 画面が正しく動作しない場合があります。
正しく動作しない場合は、付属の CD-ROM からインストールまたは、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を開いて、削除をしてください。

1-3. Java(TM)のインストール

- (1) 付属のインストール CD-ROM を PC にセットし、マイコンピュータ等から CD-ROM のドライブを開き、[jre-6u3-windows-i586-p-s.exe] を実行してインストールウィザードを起動します。



- (2) インストールウィザードが起動したら、セットアップ画面が表示されますので、**同意する** をクリックするとインストールが開始されます。



- (3) 正常にインストールが完了すると次の画面が表示されますので、**完了** をクリックしてください。



1-4. 接続

MV-410HS を LAN インターフェースで制御する場合、接続方法によって使用するケーブルや機材が異なりますのでご注意ください。PC と MV-410HS を直結する場合はクロス LAN ケーブルで接続します。ルータやハブを介して接続する場合は基本的にストレート LAN ケーブルを使用します。

注意 MV-410HS 1 台に対して接続可能な PC は 1 台のみです。

1-5. 通信規格

通信規格は次の通りです。

プロトコル	TCP/IP プロトコル
IP アドレス	<p>設定範囲：0.0.0.0 ～ 255.255.255.255</p> <p>ただし、PC 側で設定可能な IP アドレスは次のように制限されているため、この範囲内で本体の IP アドレスを設定してください。</p> <div style="text-align: center;"> <p>第1オクテット 第2オクテット 第3オクテット 第4オクテット</p> </div> <p>第1オクテット：1 ～ 223（ただし、127は除く） 第2オクテット：0 ～ 255 第3オクテット：0 ～ 255 第4オクテット：1 ～ 254</p> <p>※本体 MENU 画面にて設定 ※初期化時設定は、「192.168.0.1」</p>
サブネット マスク長	<p>設定範囲：0 ～ 31</p> <p>※本体 MENU 画面にて設定 ※初期化時設定は、24</p>
ゲートウェイ	<p>設定範囲：0.0.0.0 ～ 255.255.255.255</p> <p>※本体 MENU 画面にて設定 ※「0.0.0.0」はゲートウェイが設定されていないことを意味します。 ※初期化時設定は、「0.0.0.0」</p>
マックアドレス	<p>工場出荷時に設定済み（変更不可）</p> <p>※内容は本体 MENU 画面にて確認可能です。</p>

注意 MV-410HS 本体の LAN 通信規格の内容は、PC からは変更できません。
 MV-410HS 取扱説明書「7-3. LAN」を参照し、MV-410HS 本体から変更してください。

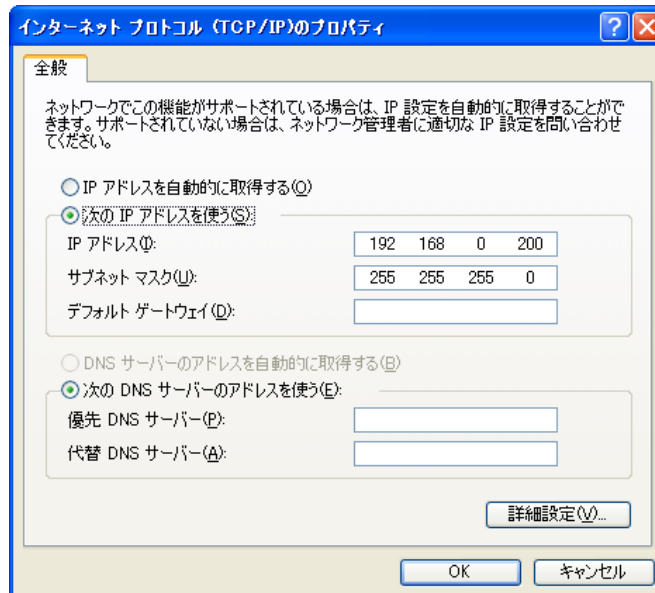
1-6. PC のネットワーク設定

PCのネットワーク設定を、接続する MV-410HS のネットワーク設定に合わせる必要があります。PCのネットワーク設定方法は OS によって異なりますので、詳しくは OS のマニュアルを参照してください。ここでは、工場出荷時設定の MV-410HS に接続する際の設定例を示します。MV-410HS の出荷時設定は次の通りです。

IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク長	24
ゲートウェイ	0.0.0.0

1) WindowsXP で [スタート] メニュー設定を変更していない場合

タスクバーの [スタート] メニューからコントロールパネルを開き「ネットワーク接続」をダブルクリックします。「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックして「プロパティ」を開きます。「全般タブ」の「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をダブルクリックするとプロパティが開きますので、内容を下記の例のように設定します。なお、IP アドレスを元に戻す必要がある場合は、現在の設定をメモで残しておいてください。



PC の IP アドレス	192.168.0.yyy (yyy は MV-410HS 本体に設定した番号、およびゲートウェイの番号を除く 2~254 の任意の値です。この例では yyy=200 に設定しています。)
サブネットマスク	255.255.255.0 に設定します。

2) WindowsXP で [スタート] メニュー設定をクラシック[スタート]メニューに変更している場合

タスクバーの [スタート] メニューから [設定] → [ネットワーク接続] を開き、「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックして「プロパティ」を開きます。「全般タブ」の「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をダブルクリックするとプロパティが開きますので、1)と同様に設定します。

設定が終わったら OK をクリックして、すべてのウィンドウ (インターネットプロトコル、ローカルエリア接続のプロパティ) を閉じます。

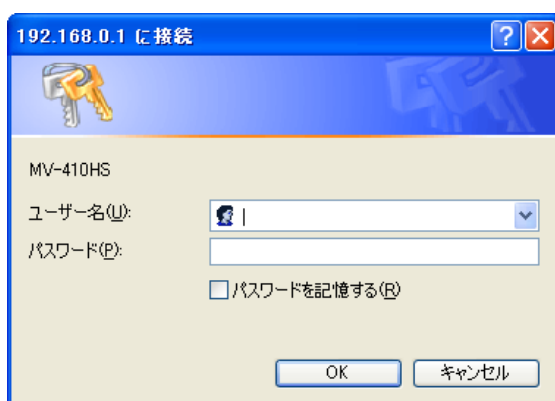
2. Internet Explorer でのリモートコントロール

2-1. Internet Explorer の起動と接続

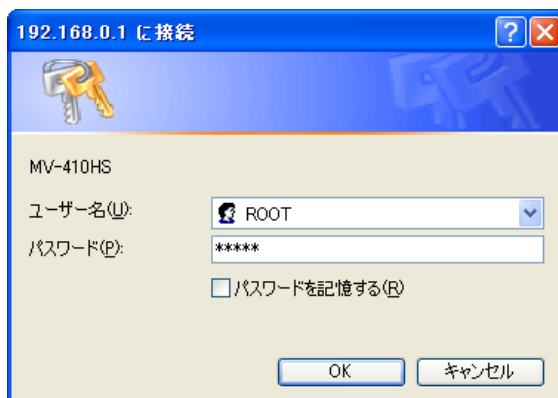
タスクバーの[スタート]メニューから[すべてのプログラム] → [Internet Explorer]を選択して起動してください。

- 1) ブラウザのアドレス欄に MV-410HS の「LAN」メニューで設定した IP アドレスを入力して、**ENTER**キーを押します。ID が設定されている場合は、通信が確立されると次の認証画面が表示されます

※ ID が設定されていない場合は、通信が確立されるとコントロール画面が表示されます。



- 2) ユーザー名とパスワードを入力して **OK** ボタンをクリックします。ユーザー名、パスワードが一致するとコントロール画面が表示されます。




MV-410HS の初期設定値は以下の通りです。

ID : ROOT
パスワード : 00000

注意

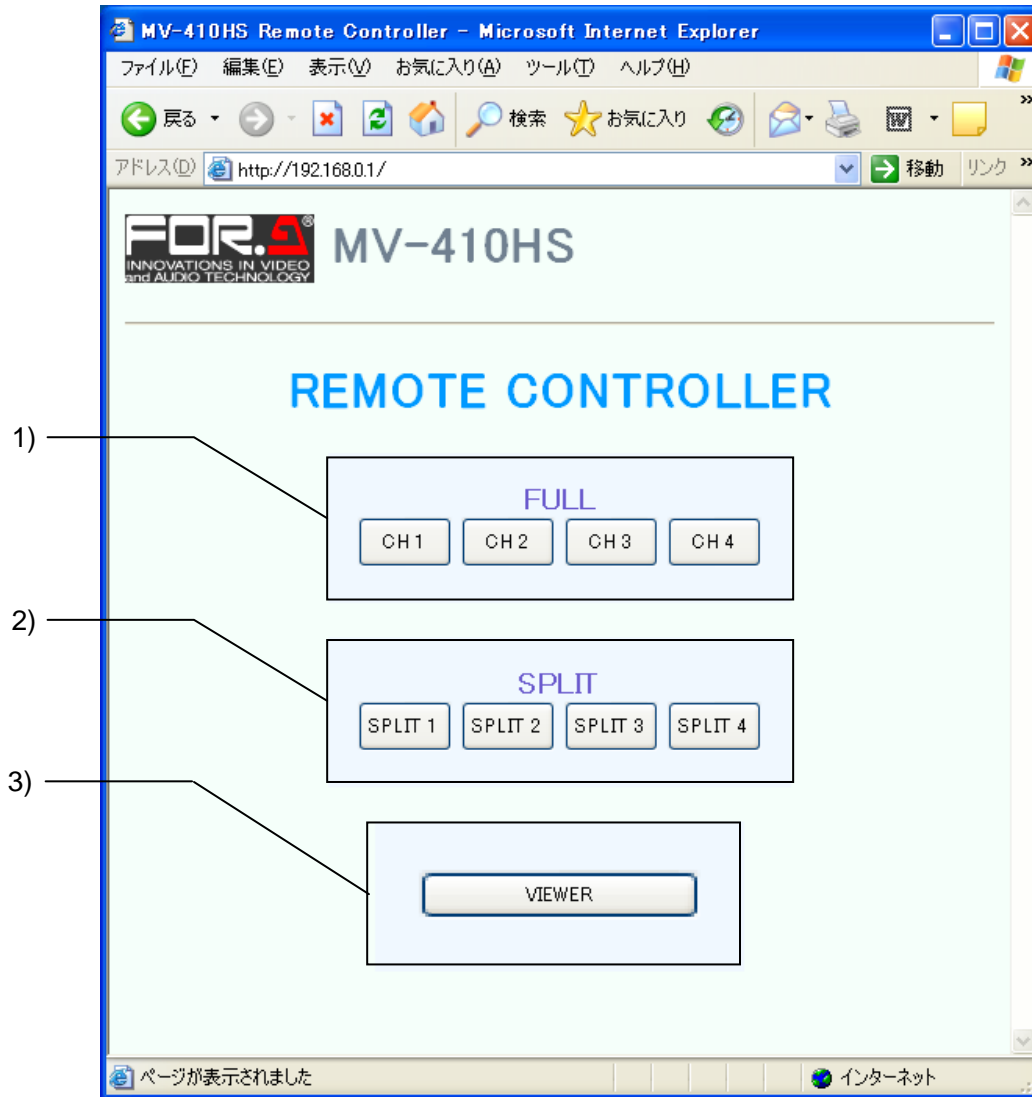
MV-410HS と接続中に MV-410HS 本体の電源を再起動した場合は、動作が不安定になることがあります。MV-410HS 本体の電源を再起動した場合は、再度 Internet Explorer を立ち上げなおしてください。

2-2. Internet Explorer の終了

Internet Explorer のウィンドウ右上の  をクリックしてください。

2-3. コントロール画面

通信が確立すると次の画面が表示されます。



1) FULL CH1~CH4

選択したチャンネルをフル画面で表示します。

2) SPLIT 1~4

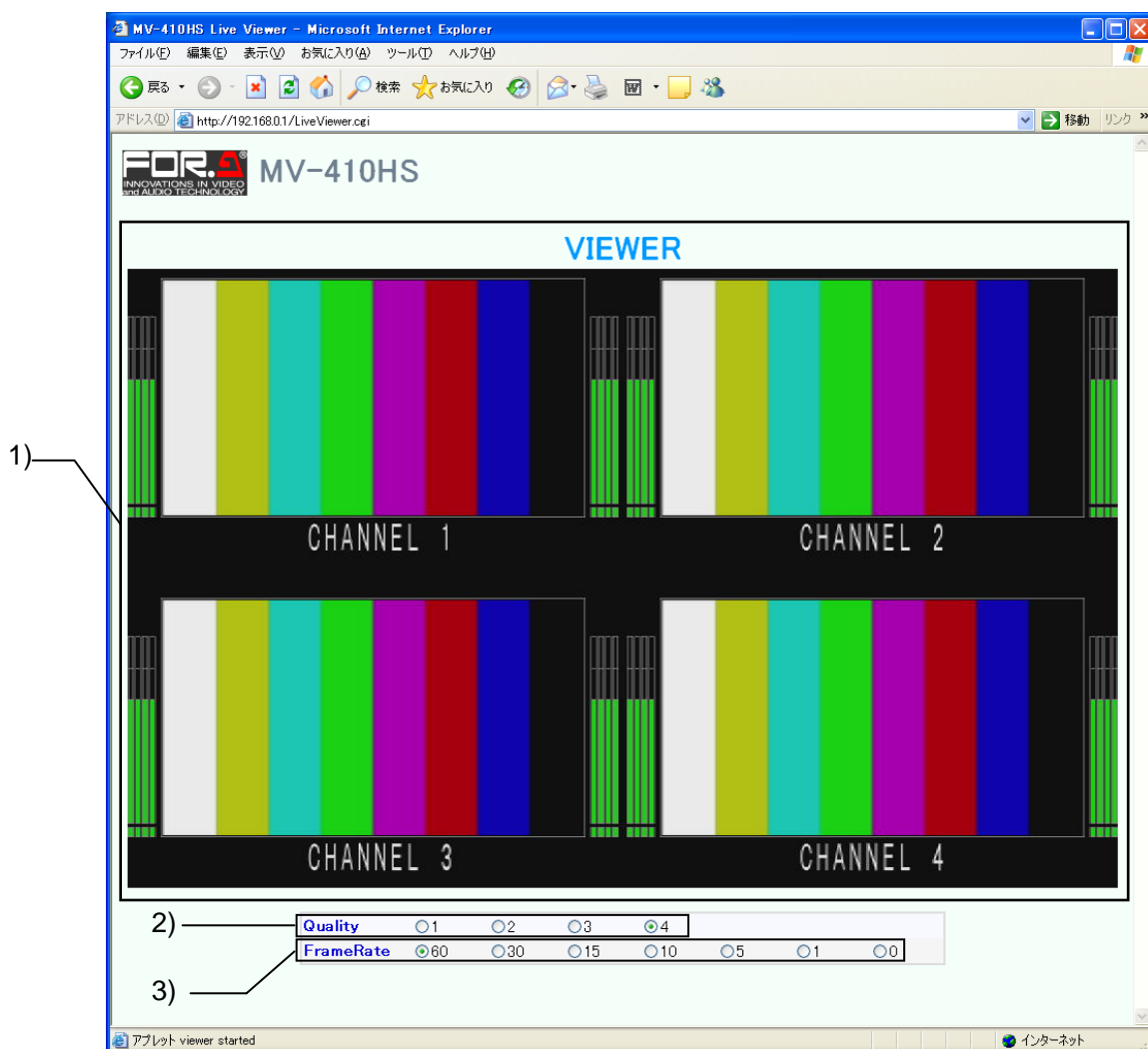
選択したスプリットのレイアウト画面を表示します。

3) VIEWER

ライブビューワ画面を表示します。

2-4. 動画転送 (VIEWER)

VIEWER ボタンをクリックすると以下のような VIEWER 画面が表示されます



1) VIEWER 画面

MV-410HS から転送されている画像を表示します。動画転送ではMV-410HSが DVI OUT コネクタから出力している画像を水平、垂直方向にそれぞれ 1/2 サイズにした映像を JPEG 圧縮して表示します。

2) Quality

動画転送する JPEG 画像の圧縮率を 1~4 で選択します。数字の大きい方が高画質となります。

3) Frame Rate

動画転送のフレームレートを設定します。

システム設定で 60Hz、59.94Hz に選択した場合は 0FPS、1FPS、5FPS、10FPS、15FPS、30FPS、60FPS から選択可能です。

システム設定で 50Hz に選択した場合は 0FPS、1FPS、4FPS、8FPS、12FPS、25FPS、50FPS から選択可能です。

0FPS を選択した場合は動画転送を停止します。動画転送中にコントロール画面の動作が遅くなる場合は、0FPS を選択して動画転送を一旦停止してください。

注意

転送する画像、JPEG 圧縮率、接続する PC、ネットワークの環境等により設定したフレームレートを満たさない場合があります。そのような場合は JPEG 圧縮率を変更して転送するデータ量を少なくするか、専用ソフトウェア MV-410HS Live Viewer を使用してください。

設定したフレームレートを満たさない場合、画像が上下に揺れて見える場合があります。そのような場合は、フレームレートを小さく設定してください。

VIEWER 画面を開いたまま、レイアウトエディタ、RS-232C/422/485/LAN コマンドまたは MV-410HS Live Viewer で以下の変更した場合は、VIEWER 画面のパラメータ表示は更新されません。

- ・ 出力周波数
- ・ JPEG 画像の圧縮率
- ・ フレームレート

3. 故障かなと思ったときに

修理を依頼される前に、次のことを確認してください。

注意

下記の項目をすべて確認しても正常に動作しない場合は、製品の電源を OFF にし、再度 ON にしてください。また、PC およびソフトウェアも再起動してください。それでも正常に動作しない場合は、販売代理店へご連絡ください。

現象	確認点	対策
MV-410HS との接続 ができない	MV-410HS の電源が投入されていますか？	MV-410HS の電源が投入されていることを確認してください。
	PC は動作環境を満たしていますか？	動作環境を満たす PC で接続してください。
	ネットワークが正しく接続されていますか？	ネットワークの配線や、ケーブル類が確実に接続されているかを確認してください。
		ケーブルの種類が正しいか確認してください。
	LAN アダプタなどのハードウェアが正常に動作していますか？	デバイスマネージャや診断プログラムなどで、これらのハードウェアが正常に動作しているかを確認してください。
		ドライバ類が正しくインストールされているかを確認してください。
	PC ネットワーク設定が正しく設定されていますか？	TCP/IP プロトコルがインストールされており、IP アドレスなどが正しく設定されているかを確認してください。
MV-410HS のネットワーク設定が正しく設定されていますか？	MV-410HS のメニューから、IP アドレスなどが正しく設定されているかを確認してください。	
IP アドレスが重複していませんか？	ネットワーク上の全ての PC および、MV-410HS の IP アドレスに重複がないか確認してください。	
VIEWER 画面が表示されない	Java のバージョンは正しいですか？	コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を開いて、Java のバージョンが、Java(TM) 6 になっているか確認してください。 バージョンが違う場合は、インストールまたは、削除を行ってください。